



1991年(平成3年)  
10月13日  
\*年4回発行  
\*校区全戸配布

事務局・堺市赤坂台2丁5-1(保育園内) ☎ 98-4500

第五回赤坂台子どもカーニバル

子供大人全員集合

一〇月二〇日・小学校で

校区福祉協議会主催の恒例行事「第五回赤坂台子供カーニバル」は、来る一〇月二〇

日(日)午後一時から赤坂台小学校運動場で開催。雨天のときは十一月四日(日)に順延。作ろう!遊ぼう!競おう!



(写真は昨年の第四回カーニバル)

今年も、子ども自身が「遊び」を創り、大人が支えるカーニバルです。子ども会やスポーツ団体が、工夫をこらしたコーナーを出展します。『缶ぽっくり競走』『空き缶積みコンクール』『年齢別五種競技』『紙コップUFO』『風船らくがき』『割りばし鉄砲』『ブンブンこま』『金魚すくい』『スポーツ体験コーナー』などなど、昨年以上の楽しさです。

ミニSLもはしる

今年は大好評だった泉北消防署の「ジャンボ迷路」や、警察署の「交通安全腹話術」にもきていただきます。郵便局やボーイスカウトからも出展していただける予定です。

校区福祉協議会担当理事

辻林茂さん(平一四番)の話

「校区あげて青少年の健全育成をはかるカーニバルが、はやくも五回目を迎えました。地域ぐるみの大イベントにたくさん子どもたちに参加していただいて、子ども会活動の活性化のきっかけをつくり、大人の方々への意識啓発にもつながればと思います。子どもたちの明るい笑顔で活気ある町づくりの一助に、秋の一日、ぜひおそろいでおいでください」。

# 福祉を学ぼう

## ボランティア・スクール

赤坂台校区福祉協議会では、  
 昨年の好評にちやえて、今秋も  
 下記の通り一二月九日から四  
 回にわたってボランティア・  
 スクールを開催いたします。



(写真は昨年のボランティア・スクール)

福祉について勉強してみよ  
 うと思われる方の積極的な参  
 加をお待ちします。  
 一二月四日(月)までにお  
 申し込みください。

- \* 会場 赤坂台自治会館
- \* 時間 毎回午後二時〜四時
- \* 定員 三〇名(受付順)
- \* 受講料 無料
- \* 問い合わせ、申し込みは 赤坂台校区福祉協議会事務局・保育園
- ( ☎ 九八一四五〇〇 )
- ほのぼのの会代表・手拝康子さん ( ☎ 九八一五七一九 )
- ボランティア企画委員会代表・上畑浩三さん ( ☎ 九九一五四三七 )

### ◎ 第一回 一二月九日(土)

『暮らしの中の福祉』

講師 船曳保宏氏

(大阪府立大学)

社会福祉学部教授)

### ◎ 第二回 一二月一四日(木)

『暮らしの心理学』

講師 米沢富士男氏

(大阪府立大学)

総合科学部教授)

### ◎ 第三回 一二月一六日(土)

『相談・面接の技術』

講師 田中美智子氏

(大阪ボランティア協会)

コーディネーター)

### ◎ 第四回 一二月二〇日(水)

福祉映画観賞

講座のまとめ・懇談会

担当 為村収二郎氏

(校区福祉協議会会長)

佐藤祐弘氏

(同副会長・社会福祉士)

### 福祉協議会構成団体紹介◎

#### 青少年

#### 北指導員△△△

校区の青少年育成活動をすすめるうえで身近な相談相手として、また青少年健全育成委員会の事業担当者として現在一〇名のメンバーで活動しています。

今春、任期満了にともなう改選で新人六名が入り、大なるメンバー交替、それだけ意欲あふれてスタートをきりました。今年度は、子どもカーニバルの実行委員として、地域ぐるみの育成活動の一端を担うとともに、伝統ある音楽会を復活させ、その運営にあたることを事業目標としています。

これからも、地域の青少年健全育成のための環境づくりを中心に、微力ながらがんばっていきます。よろしく。

## 低下する出生率

厚生省の平成二年度人口動態調査で、出産率が人口維持数の二・〇八を大きく下回って一・五三にまで落ち込んだと発表された。このままでは

日本の人口は三〇年後には六千万人、平均年齢は五〇歳近くに減るとい

数字である。

この一人っ子半の出生率で育つ子どもたちの将来の負担はず

っと重く、現

在は四人で一人のお年寄りの面倒をみているのが、二人で一人の老後を支えなければならなくなるのである。

何故これほどまでに出生率が減少したのだろうか？

高度経済成長がもたらした女性の社会進出で、結婚から遠ざかる若者が増え、また結

婚しても子どもはいらぬ、

仕事やレジャーが優先するとうい気風に、その原因があるのではなからうか。

若い親の意識は？

若い父親、母親は子育てをどう考えているのだろうか。

# 出生率低下に思う



松井

彬

東京都内で私立幼稚園に通う子をもつ父母のアンケートをみると、「子どもをもつ良さは？」「子どもを育てるのは何がいへんか？等の設問の

なかで、次のような回答が目につく。

理想の子どもの数は三人、だが費用がかかること、進学

やしつけの気苦労が多いとの理由で、大半の家庭が子ども

二人までである。とくに母親では子育てに悩みをもつものが五〇パーセントもあり、子

どもは煩わしいものという意識が根強いように思われる。

反面、子育ての意義では、「家庭が明るく

なるから」「自分も子どもとともに成長できるから」という答

えが多く、過去の世代のような

「老後のたよりのため」とか

「将来の働き手である」といった考えはほとんどなくなり、子育ての価値観は時代とともに

変わっている。また、子どもの数が減っていることをどう思うかについて

しては、子どもの数は個人の

政やまわりの者からとやかくいわれる筋合いはないという

意見が多い。

真剣に考えよう

でも、このような考え方でいいのだろうか。こと人口の

減少は国家の存亡にも関わる

ことだとおもうのだが……。

法制面でも、本年度になって、生みやすい環境や育てやすい環境づくりということ

で、育児休業制度の見直しや保育施設の充実などに、やっとな

い腰を上げたが、問題の解決にはほど遠い答えである。

とにかく、若い人たちの意識が一概に悪いとはいえないが、偏った見方を流している

テレビを始めとするマスコミの悪影響があるように思われる。マスコミ関係者の猛省、自肅をも促したい。

(赤坂台幼稚園理事長)

# 連合自治会のページ

## 赤坂台ふるさと祭り

昨年に引き続き、これまでの盆踊り大会の内容を、拡充した赤坂台校区連合自治会が主催した『赤坂台校区ふるさと祭り』は、去る八月十日・十一日に赤坂公園・自治会館の二会場で開催されました。

この祭りの開催につきましては、住民・地域商業者各位の多大なご協力、ご支援を頂きましたが、アペティートからは、ザ・ブードル、フィリッピン・ダンシングチームのシヨーのご提供を頂き、会場の雰囲気盛り上げることができました。

祭りが、無事終了することができましたのは、ひとえに皆様方のご協力、ご支援に依るものであります。



紙面を借りて、皆様に厚くお礼申し上げます。

### 第一会場

メイン会場で、両日ともに前半は、主に住民自身が企画参加の行事で、後半は盆踊りが行なわれました。

自主企画の内容は、左記のとおりであります。

- 子どもたちによる手作りのみこしパレード
- ジュース・ビールの早飲み競争

○泉北日本民踊協会の皆様による民踊めぐり

○五丁 若木 甲三氏による

歌謡シヨー

『橋 幸夫の世界』

○福引き発表

○ボランテイア・グループの綿菓子、かき氷り販売

○婦人委員会のバザー

○ふるさと祭りポスター

入選者作品の掲示

(入選者氏名は左記)

### 第二会場

今夏は、空調設備が完備した自治会館で、抹茶席として和室の本席と、椅子席を設け一時の一服をお楽しみ頂きました。

### ふるさと祭りポスター入選者

会長賞 佳作 森 香里 三丁

高学年 小林 涼子 五丁

低学年 佐藤 陽子 四丁

幼児 坪井 助仁 六丁

優秀賞 高学年 谷和能理子 三丁

低学年 あごうま子 五丁

幼児 森中 理絵 五丁

佳作 中村 美里 一丁

宮田つかさ 二丁

山本 陽子 三丁

佳作 桃井亜希子 三丁

井上ひろこ 四丁

石上久美子 五丁

山川 敦史 五丁

里見 信子 六丁

花房 萌 六丁

片平ゆきの 六丁

関浦 俊 六丁

進士 尚子 六丁

第十七回堺市民

オリンピックについて

本年も、十月十日体育の日

(雨天の場合は、十月十三日

日)、第十七回堺市民オリ

ピックが開催されます。

当校区からは、左記の種目

に参加申込をしております。

○ソフトボール

○バレーボール

○卓球

○陸上競技

小中学生百校

四百校 リレー

○ゲートボール 男女

○綱引 女子

出場選手のご健闘と、立派

な成績を願っておりますが、

校区の皆様のご声援をお待ち

しております。

尚、九月二日、じばしん南

大阪で監督者会議および抽選

会が開催され、出場チーム等

の組み合わせが決定されてお

選手団の役員は、左記の

とおりとなっております。

顧問 為村収二郎

(連合自治会長)

団長 福士 敦彦

(連合自治会副会長)

副団長 名越 英治

(校区体育指導員)

総監督 横谷 和夫

(校区体育委員)

総務 海野 正孝

(連合自治会書記長)

『赤坂台自治会館』の

運営改善について

(赤坂台自治会館運営委員会)

町づくりや自治活動にな

くてはならない自治会館で

すが、より一層住民の皆様

に気持ちよく、良い環境で

利用して頂くため、本年は

左記のとおりかなりの改善

を実施致しました。

一、冷暖房器を設置  
ガスヒートポンプ方式

七月一日より使用開始

運転経費や、将来の電力

事情等を考慮してガスに

よる方式とした。

一、管理人の常駐

(七月十五日から)

会館の荒廃は、管理人の

不在も大きな原因であつ

たので、今回住民の中か

ら協力者を得て、ポラン

ティア精神で管理を依頼

している。

業務

全般管理、使用申込の

受付、日々の清掃。

一、清掃の徹底

落書、窓ガラス、トイレ

の永年の汚れは、六月に

専門業者に依頼し除去し

その後、日々の清掃は、

管理人に依頼している。

一、備品等の改善

○和室の畳表替え、障子

襖の張り替え。  
○利用者の一部の不心得

な人々により(主に子供

と思われる。)椅子など

の備品の損傷が激しく、

今回五十脚の椅子を購入

補充した。

今回の改善について、大方

の人々から会館は、随分良

なったとの評価を得ており

ますが、まだまだ改善すべき

点も多く残っておりますので、

費用の許すかぎり、逐次実

行する計画をしております。

利用者の皆様にも、会館は

住民全体の大事な施設であ

りますので、その運営にご協

力をお願いします。

尚、会館運営の費用は堺市

からの助成金など一切なく、

全て使用料でまかない、自

活の運営をしております。

泉北自治連合協議会

親睦ソフトボール大会

九月一日、開催。校区代表

三丁タワーチーム 準優勝。

赤坂台のみなさまに親しま

れてきた「子どものための音

楽会」は、昨年度は都合によ

り休演しましたが、今年度は

第九回として復活、一月三

実行委員会を結成しました。

月 月

本音楽会は、これまで小学

校の原田先生を中心に親の会

や卒業生で担ってきました。

ところが、原田先生が他校に

転動されたので、これまでの

スタイルでは開催困難になり

ました。

月 月

今年度は青少年指導員が中心

となつて、小中学校や同PT

A、連合子ども会などで運営

しますが、将来的には皆様の

ご理解のうえで地域のヤング

に開催、運営を任せるように

したいと考えています。

運営の主体は中学生以上の

ヤングに引き受けてもらうの

が理想です。小学生には地域

組織として子ども会がありま

すが、ヤングには現在そのよ

うな場がありません。音楽会

の運営に加わることで、地域

活動に理解をもつヤングが一

人でも多くできてくれるこ

とを期待します。

月 月

今回は保育園、幼稚園、小

中学校、地域で音楽に親しん

でいる人たちに呼びかけ、コ

ーラス、ピアノ連弾、ブラス

バンド演奏など多彩なプログ

ラムを用意しました。ぜひお

揃いでお出かけください。

月 月

本音楽会は、堺市全体でも

高い評価を得ています。この

会の継続は、文化的に充実し

た地域づくりに寄与するとと

もに、情操豊かな青少年育成

にも有意義だと思ひます。

地域の誇れる音楽会として

定着させるために、聴くだけ

でなく運営にも積極的に参加

していただきますようお願い

いたします。

（青少年指導員、五丁九一六）

◆◆ 福集集 示 正 記 ◆◆

★秋の堺市きつての名物行事

の観がある「赤坂台子どもカ

ーバル」は今年で早くも第五

回、二〇日午後一時から小学

校グラウンドで（雨天は一一

月四日に順延）、各団体の工

夫をこらした出しものをお楽

しみに。★一月にはボラン

ティア・スクール開催。福祉

協議会はフル回転です。★自

治会館に待望の冷房設備。今

夏は各種会合の出席率がぐん

と向上したとか。★大阪府社

会福祉機関紙コンクールに当

「ハロー」も応募、一月月に

結果判明、はたして初入賞な

るか。★某歴史通いわく、ソ

連大変動の行方は明治維新史

から推測がつく、さしずめゴ

ルバチョフの共産党書記長辞

任は最後の將軍徳川慶喜の大

政奉還にそっくりだと。なる

ほど！（M）

# 赤坂台の子どものための音楽会

## 任 谷 四

日（文化の  
日）に赤坂  
台小学校で  
開催いたし  
ます。

中学校、地  
域で音楽に  
親しんでい  
る人たちに  
呼びかけ、  
コーラス、  
ピアノ連弾  
、ブラスバ  
ンド演奏な  
ど多彩なプ  
ログラムを  
用意しました  
。ぜひお揃  
いでおかけ  
ください。

これまで同  
様に、校区  
のみなさん  
にできるだ  
け多く参加  
していただ  
き、聴くば  
かりでなく  
運営の主体  
は中学生以  
上のヤング  
に引き受け  
てもらおう  
のが理想で  
す。小学生  
には地域組  
織として子  
ども会があ  
りますが、  
ヤングには  
現在そのよ  
うな場があ  
りません。音  
楽会の運営  
に加わるこ  
とで、地域

活動に理解  
をもつヤン  
グが一人も  
多くできて  
くれること  
を期待しま  
す。

自身も演奏  
を楽しめる  
ような音楽  
会にしたい  
と思ひます  
。主催は校  
区青少年健  
全育成委員  
会ですが、  
旧「親の会  
」卒業生の  
会に呼びか  
けて

の運営に加  
わることで  
、地域

いいたしま  
す。